

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

貴社におかれましては、平成17年3月15日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の踏切事故後、抜本対策である鉄道立体化の検討について、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成19年度当初、足立区が事業主体となる東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業が、新規着工準備箇所として採択されました。

鉄道立体化に合わせたまちづくりにつきましても、区北部の地域拠点として、鉄道立体化に合わせた都市機能の更新、地域商業の活性化等を図るため、平成18年度に地元代表者によるまちづくり連絡会を立ち上げ、地域住民との協働により、平成20年12月に、まちづくり構想を策定しました。現在、地区まちづくり計画策定に向けて精力的に検討を進めております。

こうした取り組みに加え、足立区は、連続立体交差事業の着実な実施を担保するため、竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えております。

今後も、足立区は、平成23年度の事業着手を目標に全力を挙げて取り組んでまいります。特に、平成21年度には、都市計画決定や環境影響評価に関する具体的な手続きに着手してまいります。

つきましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に向け、区施行での連続立体交差事業に対し、東武鉄道株式会社とともになお一層のご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

平成21年6月12日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長
足立区長 近藤 や よ い

東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 梅崎 壽 様